

1. 件名：検査制度の運用に関する核燃料施設等設置者との面談
2. 日時：令和3年3月31日（水） 13：30～14：35
3. 場所：原子力規制庁 2階打ち合わせテーブル（TV会議システムを利用）
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
核燃料施設等監視部門
熊谷統括監視指導官、栗崎企画調査官、木村主任監視指導官、鈴木主任監視指導官、服部上席監視指導官、赤澤主任監視指導官、福吉主任監視指導官、福原監視指導官、小野原子力運転検査官
核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター 安全管理課 課長 他2名
ニュークリア・デベロップメント（株） 安全管理部 部長 他4名
（株）日立製作所 王禅寺センタ 王禅寺センタ長
日本原子力研究開発機構 東海本部 安全・核セキュリティ統括部 品質保証課
技術主幹 他12名
（株）グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 保安全管理部 保安全管理課
課長 他1名
日本核燃料開発（株） 保安全管理部部長 他2名
立教大学 原子力研究所 所長 他4名
原子燃料工業（株）熊取事業所 環境安全部 安全管理グループ長 他1名
リサイクル燃料貯蔵（株）取締役技術安全部長 他2名
近畿大学 原子力研究所 准教授 他1名
東京都市大学 原子力研究所 原子炉施設管理室長 他2名
日本原燃（株）安全・品質本部 副本部長（放射線安全、環境管理センター）
他10名

5. 要旨

原子力規制庁から、配布資料に基づき説明を行ったところ以下のような質疑応答があった。

（1）安全実績指標（PI）の報告単位について

- 令和3年3月18日に実施した、検査制度の運用に関する核燃料施設等設置者との面談において、日本原燃（株）から提示された報告単位の考え方について、資料1に基づき、原子力規制庁から改正案を提示し、各社から異論はなかった。
- 原子力規制庁から、JAEAと調整の上、後日確定版を共有する旨を伝えた。

（2）安全実績指標（PI）報告の様式等について

- 近畿大学、東京都市大学及び日本核燃料開発（株）から、安全実績指標（PI）の報

告様式、送付先、具体的なスケジュールについて質問があり、原子力規制庁から、4月上旬に報告様式や提出先（メールアドレス）等をお知らせする旨を伝えた。

(3) 令和3年度日常検査、非該当施設 検査計画について

- 原子力規制庁から、資料2及び資料3に基づき、令和3年度日常検査 検査計画について説明を行った。

(4) その他

- 日本原子力研究開発機構から、非該当使用施設における検査の通知方法及び検査の実施方法について質問があり、原子力規制庁から、検査の通知方法については、検査通知書及び手数料の納入告知書を発行する旨を伝えた。
- また、該当使用施設と非該当施設が混在する施設の検査の方法について質問があり、当該施設においては、非該当使用施設の基本検査ガイドは用いず、該当施設と同様、品証マネジメントシステムの運用、火災防護等の基本検査ガイドを用いて検査を実施する旨を伝えた。

6. 配布資料

- (1) 資料1_核燃料施設等における安全実績指標（PI）報告について（放射線安全）
- (2) 資料2_令和3年度日常検査サンプル数（核燃）（暫定版）
- (3) 資料3_令和3年度41条非該当検査計画